

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年7月14日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	伏木海陸運送株式会社
所 在 地	富山県高岡市伏木湊町5番1号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 浦 俊夫
担 当 者 連 絡 先	電 話:0766-45-1114
	メール:tsuritani@fkk-toyama.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.fkk-toyama.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、1944年(昭和19年)創立の港湾運送業者です。伏木富山港を中心に、港湾運送事業・貨物利用運送事業・倉庫業・船舶代理店業・通関業等を営んでおり、国際複合一貫輸送体制を充実させ、総合物流企業としてサービスの提供を行っております。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓ 環境 □ 社会 □ 経済	・環境配慮への取組み	・荷役機器の CO2 低排出化の推進 水素リフトの増車 (現 2 台→3 台) ・事業所の省エネ化の推進 ソーラー発電の増設(現 1 カ所→2 カ所)
□ 環境 ✓ 社会 ✓ 経済	・事業継続の社内体制構築 ・地域社会への貢献	・BCP 体制の継続的发展 年 1 回の防災訓練の実施 ・地域防災活動への参加 年 1 回の地域消防訓練への参加
□ 環境 □ 社会 □ 経済		

(様式第2号)

企業・団体名(伏木海陸運送株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	2【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント禁止事項を就業規則に明記。人事労務部長を相談窓口としている。また、社外専門員を配置し、教育と相談窓口を担ってもらう事とした。			5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
	3【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	職員の残業時間を月毎に算出し、そのデーターを部門長に回覧し、労働時間を平準化を進めている。						8.5 8.8											
	4【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									
	5【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会メンバーでのパトロールを月1回実施している。			3			8											
	6【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックを実施している。(年1回)			3														
	7【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	8【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格試験取得に向け、費用の補助や資格手当の支給で従業員のスキルアップを進めている。				4	5.5		8	9									
	9【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5			8.5		10.2 10.3									
	10【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3				8											
環境	11【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる									11.6	12.4 12.5		14.1						
	12【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	太陽光発電システムの発電量を把握しCO2排出の削減を図っている。					7.3						13						

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	電動リストや水素リフトを導入し、温室効果ガス排出量の削減に努めている。(水素リフトの3台目導入を計画中)							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電パネルを倉庫屋根に設置、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。 (2カ所目の設置を計画中)						7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	AE0認定通関業取得			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	電動リストや水素リフトの割合を高めることで、CO2の削減に努め、環境に配慮した荷役を提供している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9		11	12		14	15		17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
26 社会・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	富山県道路愛護ボランティア制度に登録し、港湾地区の清掃・美化に取り組んでいる。				4						11			14	15		17	
	27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している							8	9		11	12	13					
28 組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している							8	9									17	
	29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している															16		
	30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している															16		
	31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）															16	17	
	32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している															16		
	33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる															16		
	34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	年間事業計画を立案し、年1度の避難訓練を行い、有事の際に備えている。							9		11		13.1			16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	中期計画会議を開催している							8	9							17		

上記以外で設定した取組項目

[illegible]